

## 平成29年度 しょうぶの里事業計画 (障害者支援施設)

### 1 運営の基本方針

- ・しょうぶの里は、熊本市手をつなぐ育成会会員の熱い思いと永年の努力の結果、平成13年に実現した障がい者支援施設であり、運営は会員の総意に基づく。
- ・市育成会の管理の下、施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援（A型）等の福祉サービスを提供する。
- ・当施設は、相談支援事業・グループホーム・短期入所・生活困難者レスキュー事業等、障がいのある人の地域生活支援拠点の機能を有している。
- ・運営の基本理念として、法令を遵守し、利用者の意思や人権を尊重するとともに、安全安心、豊かで幸せな生活が送られるよう、丁寧で誠実、温かみのある支援を心がけ、自立と社会活動参加をめざす。
- ・利用者が地域社会で自立した生活を営むことができるよう支援し、施設と地域との連携を強化し、地域に貢献できる人材づくりに努める。

### 2 サービスについて

#### (1) 支援体制

| 職 名       | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-----------|-----|-------|
| 管 理 者     | 2人  |       |
| サービス管理責任者 | 1人  |       |
| 生活支援員     | 13人 | 3人    |
| 看 護 師     | 2人  |       |
| 事 務 職 員   | 2人  |       |
| 栄 養 士     | 1人  |       |
| 調 理 員     | 3人  | 3人    |
| 医師 (嘱託)   | 1人  |       |

#### (2) サービス提供時間

| 入 所                | 時刻    | 通 所                  |
|--------------------|-------|----------------------|
| 起床 洗顔 朝食 歯磨き       | 7:00  |                      |
| 部屋掃除 ラジオ体操 散歩      | 9:00  | 迎え (8:40～) 着後健康観察    |
| 作業活動 (毎日)          | 10:00 | 作業活動 入浴 ウォーキング ラジオ体操 |
| 作業終了 掃除 昼食 歯磨き     | 12:00 | 作業活動 掃除 昼食 歯磨き       |
| 作業活動 (月・火) クラブ (水) | 13:30 | 作業活動 (月・火) クラブ (水)   |
| 里会 (木) 余暇活動 (土日祝)  | 14:00 | 里会 (木)               |
| おやつ 入浴             | 15:00 | おやつ 反省 送り (15:30)    |
| 夕食                 | 18:00 |                      |
| 自由時間               | 19:00 |                      |
| 就寝                 | 22:00 |                      |

### (3) 支援の内容

#### ①施設入所支援 (夜間支援) (30人)

※夜間(夕方～翌朝)、休・祝日に以下の日常生活全般を支援

- ・夜間、休・祝日における食事・入浴・排せつ等の支援及び介助。
- ・休・祝日の余暇活動(スポーツ・文化活動・お出かけ・買物等の体験)
- ・諸行事(季節・伝統・地域行事)や交流会(学校・地域・団体等)に参加。

#### ②生活介護 (日中活動) (40人)

※常時介助が必要な利用者に対し、主として、昼間、入浴・排せつ及び食事の介助や日常生活上の支援を行うとともに、創作活動や生産活動の機会を提供して、身体能力や生活能力の向上を図る。

#### 《活動グループと内容》

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| ◎ | アートグループ・・・作業棟 (絵画・イラスト・オブジェ・木工・陶芸) |
| ◎ | 環境整備グループ・・・屋外(軽作業・生産活動・環境整備・園芸等)   |
| ◎ | リサイクルグループ・・・新作業棟(古紙・アルミ缶回収・石鹸作り)   |

- ・アートグループでは、好きなこと、やりたいことを見つけ、喜びを味わいながら進んで活動。でき上がった作品が結果として、アートとして評価。
- ・リサイクルグループは、通所の利用者の仕事として活動。
- ・玄関の花の水やり、花壇の草取りなどを利用者全員で行う。

### (4) サービス提供の留意点

#### ①支援について

- ・個別支援計画に基づき、利用者の人権・人格、個人としての尊厳を守り、温かみのある支援を行う。
- ・自立した日常生活と社会参加ができるよう支援に努める。
- ・法令(障害者虐待防止法・障害者差別解消法等)を遵守したサービスに努める。

#### ②事故防止、安全管理について

- ・常に目配りや気配りをおろそかにせず、利用者に寄り添った支援をする。
- ・利用者の安全安心に心がけ、危険と思われる施設設備の改善に取り組む。
- ・火災避難訓練を毎月実施し、水害や地震、津波、防犯の訓練も実施する。

#### ③健康管理について

- ・看護師を中心に、利用者の健康に留意し、個人や状況に応じた対応を行う。
- ・利用者の加齢化に伴う足腰の衰えに対して、体力の維持、回復を図る。
- ・感染症には、施設内外の感染経路に気を配り、予防と適切な対応に努める。
- ・誤薬防止に努める。

#### ④給食について

- ・安全で、栄養のバランスのとれたおいしい食事の提供に努める。
- ・食材は、地産地消を基本にして、地域で取れた新鮮なものを使う。
- ・加齢化や健康状態に配慮して、個に応じた食事の提供に努める。

### 3 今年度の重点課題

#### (1) 日課について

- ・非常に早起きの人とゆっくり起きたい人との時間差が大きく、また、加齢化によるものか、朝の起床から歯磨きまでの時間帯の活動に、以前よりも時間を要するようになってきた。支援や介助の面から日課を見直したい。
- ・加齢化や健康診断の結果により、運動不足の課題があるので、健康増進に力を入れる。

#### (2) 活動について

- ・アート活動は実績を上げている。継続して更に充実し磨きをかけたい。
- ・全般的に活動量が少なく、日中活動の充実が必要。
- ・メリハリのある生活や健康・体力維持のために、全般的に、もう少し動きのある活動をもっと取り入れる必要がある。
- ・外の作業にも取り組み、地域奉仕を兼ねて、地域に貢献する。

#### (3) 支援について

- ・利用者の尊厳と人権を大切にし、利用者の意志を尊重した温かみのある支援をする。
- ・利用者に寄り添い、利用者の思いを受け止めて自立への支援をする。

#### (4) 安全管理と事故防止について

- ・利用者の安全を守るため、不審者対応のマニュアルの整備、日頃の安全管理や緊急時の対応等、不審者対応を強化する。
- ・自然災害等、万一に備えた避難訓練を定期的に行い安全を守る。
- ・ヒヤリハット事例を、全職員で共有して事故を未然に防ぐ。

#### (5) 健康管理について

- ・利用者の健康診断の結果を「医」「食」「運動」の面から考え、必要な対策を講じる。
- ・看護師2人体勢のもと、感染症対策委員会を立ち上げて予防と対応に努める。
- ・誤薬のリスクをなくすために、防止及び対応マニュアルの作成等、必要な対策を講じる。

#### (6) 給食について

- ・健康診断の結果が悪化している利用者の増加を踏まえ、個人に配慮した食事の提供を行う。
- ・看護師、栄養士、担当職員で栄養マネジメントのための体制を整える。
- ・非常時に備える訓練として、非常食を提供する日を設けるようにする。

#### (7) 施設設備の充実について

- ・玄関のインターホーンは遠くでは聞こえないので、食堂や娯楽室にも設置する。
- ・災害に備えて非常食を確保する保管庫を設置し、常時収納保管する。

#### (8) 家族・地域・関係機関との連携

- ・家族や地域の方から信頼されるよう、誠実に努力し、開かれた施設をめざす。
- ・地域の行事には、利用者も積極的に参加して、地域に貢献する活動を行う。
- ・福祉避難所や生活困難者レスキュー事業等の公益事業を積極的に行う。
- ・非常通報装置を設置し、緊急・防犯への対策を講じる。

#### 4 主な行事予定

|    |                    |     |                    |
|----|--------------------|-----|--------------------|
| 4月 | ・年度初め会・坪井川清掃・ピクニック | 10月 | ・歩こう会 ・小島校区体育祭     |
| 5月 | ・千金甲公園清掃           | 11月 | ・小島小学校音楽交流会        |
| 6月 | ・しょうぶの里まつり ・地域清掃   | 12月 | ・忘年会・焼き芋大会・大掃除     |
| 7月 | ・七夕まつり・健康診断        | 1月  | ・初詣 ・書初め ・新年会      |
| 8月 | ・日帰り旅行・ソーメン流し・涼もう会 | 2月  | ・節分 ・健康診断・チョコレート作り |
| 9月 | ・親善スポーツ大会 ・救急蘇生法   | 3月  | ・ハイキング ・クッキー作り・花見  |

#### 5 施設運営に関する行事

- ・施設運営委員会・・・年3回
- ・第三者委員会・・・定例2回
- ・職員会議・・・毎月第1月曜日
- ・研修会・・・毎月第3月曜日
- ・家族会・・・入所家族は年3回 通所は必要に応じて開催
- ・避難訓練・・・年12回以上（火災）（水害、地震、津波、土砂災害は随時）
- ・防犯訓練（不審者対策）を定期的に行う。
- ・夜間の訓練は、夜勤体制の職員で全員が避難訓練を体験する。
- ・津波避難訓練は、津波の高さを考えた訓練を定期的を実施する。

## (短期入所) (日中一時支援A)

### 1 運営の基本方針

居宅において、その介護を行う人が、疾病その他家庭の事情により、短期間入所を必要とする利用者に対して、短期間の入所を提供し、必要な介護や日常生活の自立を支援する。

### 2 入居者定員

5人

### 3 サービスの内容

#### (1) 支援体制

- ・管理者、サービス管理責任者、生活支援員、看護師、事務職員、栄養士、調理員
- ・医師（嘱託）

#### (2) サービスの提供

- ・会員に対し応諾の義務を負っているため、受け入れることを前提にする。
- ・入所支援施設と生活介護を一体的運営し、同じサービスを提供する。
- ・夜間、休・祝日は、入所支援施設の利用者と同じサービスを提供し、必要な支援を行う。
- ・昼間は、生活介護施設の利用者と同じサービスを提供し、必要な支援を行う。

#### (3) サービス提供の留意点

- ・入所申し込み時は、健康状態、病歴、心理や行動特性等、留意点を詳しく聞き取る。
- ・受け入れ時には、持ち物・薬の確認や健康状態のチェックを入念に行う。
- ・利用者の人権を大切にし、温かい支援をする。
- ・引き渡し時には、帳簿と照合しながら、持ち物の確認をしっかりと行う。

### 4 今年度の重点課題

#### (1) 申し込み（契約時）

- ・聞き取りは、優しく、丁寧に、詳しく、時間をかけて行い、安心感を与える。
- ・家庭と他の利用施設での集団生活の両面から、行動面や心理面の特性等に関する情報収集を行う。

#### (2) 受け入れについて

- ・利用者の持ち物（荷物、薬）、体調面の確認、健康状態のチェックを確実に行う。
- ・感染症流行時には、家族や他の利用施設の情報収集を密にし、感染予防に努める。

#### (3) 支援について

- ・初めてまたは利用回数の少ない人には、特に目配りを行い優しい言葉かけと対応を行い、安心感を持てるようにする。

- ・慣れない環境の中なので、しっかりコミュニケーションを取って支援する。
  - ・パニック等で他傷行為やトラブルの恐れがある時も、寄り添って支援する。
- (4) 引き渡しについて
- ・里での生活の様子を詳しく伝えるとともに、忘れ物や身体、健康面で異常がないかしっかり確認する。
  - ・また利用したいという気持ちを持っていただけるよう、笑顔で見送る。

## しょうぶの里 グループホーム事業所

### 1 事業所名

- ・グループホーム 「ぎんなん」 (定員10人)  
熊本市西区上熊本2丁目2-18
- ・グループホーム 「千金甲」 (定員4人)  
熊本市西区小島9丁目3-3
- ・グループホーム 「あいりす」 (定員7人)  
熊本市西区小島9丁目2-22

### 2 運営の基本方針

- ・入居者が共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、食事の提供、相談、その他必要な日常生活上の援助を行う。
- ・入居者の意思及び人格を尊重して温かい人間関係を醸成し、楽しく共同生活が送られるようにする。

### 3 支援体制

- ・管理者(1)、サービス管理責任者(1)、世話人(2)、会計担当者(1)

## グループホーム「ぎんなん」

### 1 入居者定員

10人(男性5人・女性5人) ※満室

### 2 入居者の就労先

一般企業(7人) 就労継続支援A型(1人) 就労継続支援B型(1人)  
生活介護(1人)

### 3 今年度の重点目標

- ・障がいの程度が軽度の入居者が多いので、人にだまされたりお金を浪費してい

- ないか等、助言や会話を通して見守るようにする。
- ・身だしなみや衛生面に課題がある入居者には、入浴や洗濯、掃除、身だしなみ等をこまめにチェックして必要に応じて支援する。
- ・夜間は、サービス管理責任者やしょうぶの里職員が定期的に巡回する。

## グループホーム 「千金甲」

### 1 入居者定員

4人（男性4人） ※満室

### 2 入居者の就労先

一般企業（2人） 生活介護（2人）

### 3 今年度の重点目標

- ・新しく入居した方が、早く慣れてなじめるよう、みんなでやさしく接する。
- ・少人数なので、仲良く助け合って暮らすように支援する。
- ・夜間は、サービス管理責任者やしょうぶの里職員が定期的に巡回する。

## グループホーム 「あいりす」

### 1 入居者定員

7人（男性7人） ※満室

### 2 入居者の就労先

就労継続支援A型（3人） 市役所教育政策課（1人）  
就労継続支援B型（1人） 生活介護（2人）

### 3 今年度の重点目標

- ・こだわりや個性の強い入居者の支援の強化を図り、快適な生活を送ってもらう。
- ・帰宅の遅い入居者もいるので、門限を守って帰宅するよう習慣づけを図る。
- ・金銭の使い方に課題のある入居者には、適切な金銭の使い方を支援する。